

65歳健康寿命をのばし、誰ひとり取り残さない「健康長寿日本一のまち」をつくる

1. 現行計画が目標としているまちのすがた

区民の健康な暮らしを支える環境づくりに、区や関係者、企業等が有機的な連携のもと、取り組んでいます。区民は生活習慣病等の発症予防、早期発見・早期治療、病気を悪化させないための対処に努め、ストレスをコントロールする力を身に付けています。

2. 20年間の変遷（基本構想策定（H17年）～現在）

	2005（H17）～2009（H21）年	2010（H22）～2014（H26）年	2015（H27）～2019（R1）年	2020（R2）年～現在
<p>施策451 区民みずからが健康に暮らせるしくみをつくる</p>	<p>特定健康診査</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療制度改革に基づく事業開始 国民健康保険特定健康診査及び特定保健指導開始 <p>がん検診</p> <ul style="list-style-type: none"> 墨田区がん対策基本方針の策定 	<p>特定健康診査</p> <ul style="list-style-type: none"> 大腸がん検診との同時実施開始 <p>がん検診</p> <ul style="list-style-type: none"> 大腸がん検診の健康診査同時実施開始 胃がんリスク検査試行実施 墨田区がん対策基本方針改定 	<p>特定健康診査</p> <ul style="list-style-type: none"> 肺がん検診との同時実施開始 国民健康保険特定健康診査複数年結果通知開始 <p>がん検診</p> <ul style="list-style-type: none"> 肺がん検診の区内医療機関実施委託及び健康診査同時実施開始 墨田区がん対策推進計画策定 胃がん検診（胃内視鏡検査）開始 	<p>特定健康診査</p> <ul style="list-style-type: none"> 第3期国民健康保険データヘルス計画策定 <p>※特定健康診査等実施計画は本計画に内包</p>
<p>施策452 包括的な親と子の健康づくりを支援する</p>			<ul style="list-style-type: none"> ゆりかご・すみだ事業開始 産後ケアモデル実施（宿泊型・訪問型） 	<ul style="list-style-type: none"> バースデーサポート事業開始 産後ケア本格実施（日帰り型・宿泊型・訪問型・外来型）
<p>施策453 保健衛生における安全と安心を確保する</p>	<p>予防接種事業</p> <p>【定期接種】 A類疾病：7 B類疾病：1</p> <p>【任意接種】 0</p>	<p>予防接種事業</p> <p>【定期接種】 A類疾病：1 1 B類疾病：2</p> <p>【任意接種】 3</p> <ul style="list-style-type: none"> 墨田区新型インフルエンザ等対策行動計画を策定 	<ul style="list-style-type: none"> 新型インフルエンザ等地域医療体制検討部会を設置 	<p>予防接種事業</p> <p>【定期接種】 A類疾病：1 5 B類疾病：3</p> <p>【任意接種】 7</p> <p>【臨時接種（新型コロナ）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症相談窓口開設 新型コロナウイルス感染症対策本部立ち上げ 墨田区感染症予防計画を策定
<p>施策454 地域の連携を深め、保健医療体制を確立する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 休日応急診療事業（すみだ福祉保健センター内で実施） 歯科休日応急診療 		<ul style="list-style-type: none"> 新保健施設等複合施設整備事業開始 	<ul style="list-style-type: none"> 新保健施設等複合施設開設予定 発熱外来増設

基本構想検討シート<政策450>

65歳健康寿命をのばし、誰ひとり取り残さない「健康長寿日本一のまち」をつくる

3. 当該分野における区を取り巻く環境

(1) 社会経済動向	(2) 区民のニーズや行動の変化	(3) 法制度や国・都の政策の変化
<ul style="list-style-type: none">訪日外国人観光客の増加に伴う宿泊施設の不足や、空き家を有効活用する手段の1つとして、旅館、住宅宿泊事業が大幅に増加している。新型コロナウイルス感染症のパンデミック後より、感染症の発生動向は以前と異なる傾向を示している。さらに気候変動の影響により、感染症の分布・発生に変化をきたしうる。日本の自殺死亡率は、先進国（G7）の中で最も高い状態である。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響等により自殺の要因となりうる様々な問題が悪化した。改正児童福祉法（令和4年6月）により、児童福祉と母子保健の一体的な支援を行うため「こども家庭センター」の設置による連携・協力体制を確立することが求められている。	<ul style="list-style-type: none">健康意識が高い区民がいる一方、仕事・育児・介護との両立など健康に対する取組が困難な区民との健康格差が生じている。コロナ禍で定着してきたテレワークなどの新しい生活様式により、行動・活動の低下（運動不足）や食生活の偏りなどが表面化し、生活習慣病やフレイル予防への取組が重要視されている。国民健康保険では、被保険者の高齢化や医療の高度化などにより、1人当たりの医療費が増加している。保険者である区には、被保険者の疾病とその重症化を予防し健康寿命の延伸を図るとともに、医療費の適正化に取組むことが求められている。多様なライフスタイル、核家族化の進行等により、妊娠期から就学前まで、育児・子育てに悩みや不安を抱えている親が増えており、特に乳幼児期における発育・発達段階での伴走支援が求められている。	<ul style="list-style-type: none">国は「人生100年時代」を迎えるに当たり、誰もが包摂され活躍できる社会を目指すため「ニッポン一億総活躍プラン」を示した。公衆衛生の確保や地域住民とのトラブル防止、無許可で旅館業を営む違法民泊への対応等を背景に、平成30年に住宅宿泊事業法が施行され、旅館業法も最低客室数を廃止するなど大幅に規制が緩和された。平成19年に策定された自殺総合対策大綱が令和4年に見直され、子ども・若者の自殺対策の推進、女性に対する支援の強化、地域自殺対策の強化、総合的な自殺対策の推進について提言された。「国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針」の全部改正に伴い、令和6年度から「二十一世紀における第三次国民健康づくり運動（健康日本 21（第三次）」が開始された。

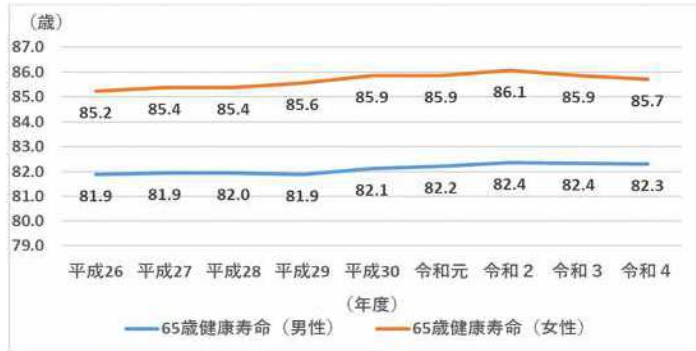
4. 区の課題と今後の取組の方向性

課題	今後の取組の方向性
<ul style="list-style-type: none">2040年に団塊ジュニアが65歳を迎え、区の高齢者人口がピークとなるとともに平均寿命の延伸により、高齢者人口における後期高齢者の割合は年々増加し、区は多死社会を迎え、人生の最後を病院で迎えることが難しくなる。	<ul style="list-style-type: none">区民一人ひとりが高齢になっても、住み慣れた地域で暮らし続け人生の最後を迎えられるよう地域医療体制の確保の推進、在宅医療の充実、区民の意識改革及び医療従事者の確保が重要となる。
<ul style="list-style-type: none">地域レベルでの自殺対策の強化、子ども・若者の自殺対策、女性に対する支援を強化していく必要がある。	<ul style="list-style-type: none">令和7年度に策定するすみだ健康づくり総合計画の中に、墨田区自殺対策計画の内容を統合し、時勢に沿った区の自殺対策を実践していく。
<ul style="list-style-type: none">特定健康診査の受診率は、23区中上位にあるものの、40%台後半で横ばいの状況にあり、国の定める目標値（60%）には届いていない。また、健診受診者のうち、健診結果により医療機関の受診勧奨の対象になった者が半数を占めている。	<ul style="list-style-type: none">特定健康診査受診率の更なる向上を図るため、新たに人工知能（AI）を活用した効果的な受診勧奨に取り組むほか、医師会との協議により実施期間の拡大を検討する。生活習慣病等の発症が疑われる者に対しては、レセプトデータも活用しながら通知、電話等での受診勧奨を行い、医療へ確実に結びつける。

基本構想検討シート<政策450>

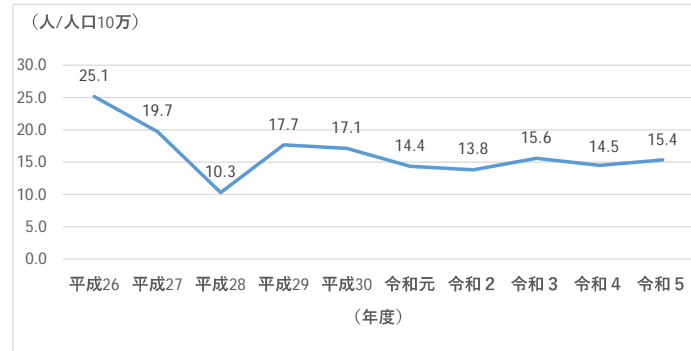
65歳健康寿命をのばし、誰ひとり取り残さない「健康長寿日本一のまち」をつくる

図表1 65歳健康寿命（男性・女性）



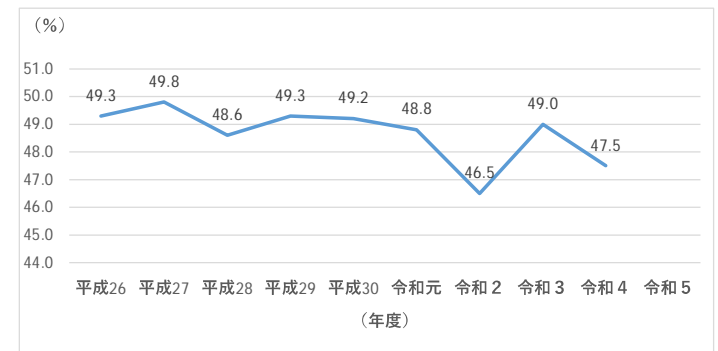
出典) 東京都

図表2 自殺死亡率



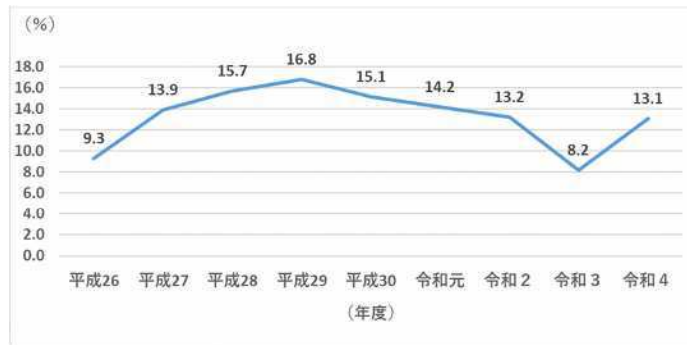
出典) 所管課データ

図表3 特定健康診査受診率



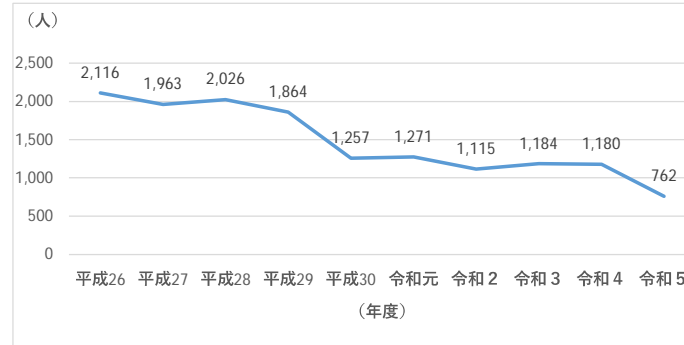
出典) 法定報告

図表4 特定保健指導実施率



出典) 法定報告

図表5 区民健康診査受診者数



出典) 所管課データ